



住まいの玄ナビ

2018年冬号

※記載の内容は変更になる場合があります。

住まいの玄

【鹿児島本店】鹿児島市西田2-15-12 (1F)
【南さつま店】南さつま市加世田東本町18-9

☎ 0120-679-146

✉ mail@smilegen.jp http://www.smilegen.jp

→ホームページへは、QRコードを読み取ってください



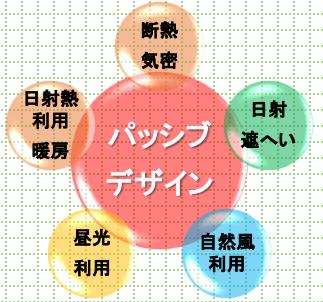
“パッシブデザイン”とは？

「パッシブデザイン」という言葉を聞いたことがありますか？2009年頃にドイツから入ってきたまだ新しい概念で、「特別な機械装置を使わずに、建物の構造や材料などの工夫によって熱や空気の流れを制御し、快適な室内環境をつくり出す設計手法」のことをいいます。冷暖房設備などを使っても同じような環境をつくることは可能ですが、それを太陽熱や光、風などの自然エネルギーによりつくり出そうという考えです。

実は昔の日本家屋、例えば深い軒、障子やすだれ、縁側等はこのパッシブデザインにあたります。先人たちは、自然の力をうまく利用して日本の気候に合った家をつくり出していたのです。現代では、太陽光発電や風力発電といった技術開発が進み、これらも自然エネルギーを有効利用する優れた方法といえます。こうした先人たちの知恵と、先端技術の融合によって生まれる設計は、より心地良い暮らしと、エネルギー消費量の更なる削減につながります。

パッシブデザインの5大要素

- ・日射遮へい
- ・風光利用
- ・自然風利用
- ・断熱気密
- ・日射熱利用暖房



の5つの要素が互いに作用し合って成り立ちます。

①日射遮へい



断熱性能を確保した住宅は、夏暑い住宅になりがち。そこで、軒の出を工夫したり、ヨシズ、スタレ、ガラリ戸等を使ったりして、窓から入ってくる日射を遮ります。構造工夫により、遮熱シート等の設置位置を考えます。緑のカーテンを作って、温度上昇を和らげるのも効果的。

②風光利用



風間の明るさを住宅室内に取り入れ、人工照明の利用を減らします。採光（南に窓を設ける等）と導光（吹き抜け、欄間を設置したり、内装を白っぽくして、家の奥まで光を導く）がポイントになります。

③自然風利用



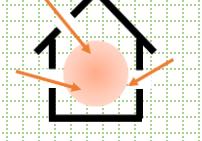
建物内の風の流れを予測しながら窓の配置や大きさを考えます。壁に平行に吹いてくる風をつかまえて、家の中に風を採り入れたり、熱が高いところに上がる性質を利用して、高窓を設置したりすることで、家全体に新鮮な風が行き渡らせつつ、建物内に溜まった熱を外に出します。

④断熱気密



気密性がしっかりしていて断熱性に優れた家は、建物全体の保温性能を向上させ、部屋間の温度差が小さくなるので、家全体を通じて快適性が保たれます。パッシブデザインの特に重要な要素といえます。

⑤日射熱利用暖房



冬に日射熱を室内に採り入れて暖房に使うこの技術は、日射熱を採り入れる「集熱」、入った日射熱を逃がさないための「断熱」、入った日射熱を蓄えておく「蓄熱」の3つをしっかりと考えることです。晴れの日が多い鹿児島は、日射熱利用に適した地域といえます。

住まいの玄のパッシブデザイン

外断熱工法で、「夏涼しく、冬暖かい家」を実現

住まいの玄では、外断熱工法を採用しています。魔法瓶のように、家全体を断熱性能の高い断熱材でぐるっと囲んでいるので、隙間ができず、「夏涼しく冬暖かい家」を実現します。

アルミ樹脂複合サッシでサンカット！

当社で使用しているサッシは、断熱効果、気密効果の高い、外・アルミ、内・樹脂の複合サッシです。また、Low-E複層ガラスを採用し、太陽による日射熱を入れずに遮断して、夏のオーバーヒートを防ぎます。

吹き抜けリビングで空気の循環を

当社は、吹き抜けリビングがメインです。冬、暖められた空気が上層にたまってしまっても、吹き抜け上部から階段部分へとおしやられ、階段伝いに下層へ回るという緩やかな空気の循環が生じます。

風が通る窓の配置計画

風が通りぬける家は、居心地がいいものです。プランニングの際、日差しや風通しはとも重要で、部屋の配置や窓の位置に特に注意を払い、風の導線を考えながら間取りを決めています。



パッシブデザインさえ十分満たしていれば“いい家”になるわけではありません。自分たちの家のあり方や暮らし方、家が建つ場所の気候風土に合わせてながら気持ちよく暮らせる家が、本当の意味での「パッシブデザイン」だと思います。



新築住宅完成見学会

デザインも機能も住み心地も叶える家 ～霧島市国分 H様邸～

2月11日(日)・12日(月)の10時～17時、霧島市国分野口町で完成見学会を開催します。

若いご家族の住まいらしく、丸みのある開口部や、タイル、アイアンを多用した、暮らすのが楽しくなりそうなデザイン性の高い長期優良住宅です。

玄関を開けると、明るく開放的な玄関と、印象的な緑の扉がお客さまを迎えます。玄関からシューズクローズ、ウォークインクローゼット、寝室へと続く裏動線がとて機能性的。人気の中2階は、テーブルを付けた作業部屋にして、スペースを最大限活用しています。また、何度も打ち合わせし、飾り物、しまう物を想定しながら作ったニッチや収納棚にも注目です。

無垢の木や塗り壁など、自然素材の心地良さも感じられ、見どころ満載の住宅です。



完成イメージ。



設計・監理担当より

何度もお打ち合わせを重ねて、施主様の好みを現実にしつつ、家としての全体のバランスも考えながら、色や棚の寸法を決めていきました。当社の自然素材や動線等の良さはそのままに、新しいスタイルの家に仕上がったと思います。これから家具や小物が並び、時間が経つにつれて、さらに雰囲気のあるおしゃれな家になると思うので、とても楽しみです。



フルリフォーム ただいま工事中！

豊かな時間を育てていく、平屋建ての住まい ～鹿児島市玉里団地 S様邸～

鹿児島市玉里団地でリフォーム工事中のこの家は、築40年以上。住んでいる人はいないものの、雨水が漏れ、基礎が割れている状態でした。耐震を心配する施主様。鹿児島市の補助金を活用して、耐震診断を行った結果、現在の基準を満たしていませんでした。

昨年12月、耐震補強工事、増築工事を含むフルリフォーム工事が始まりました。間取りは、リフォーム後に住まう家族に合わせて子供部屋2部屋を確保。南に面したスタディスペースは、日当たりが良く、キッチンからもリビングからも見えるので、お父さん、お母さんも安心です。廊下がなく、生活しやすい動線になっているのもポイントです。

現在、解体工事が終わり、基礎と構造体だけの状態になりました。新しい柱や筋交いを設ける工事と、増築部の基礎工事を行っています。完成は5月上旬の予定です。



→完成イメージ。深みのある木目、落ち着いた空間を演出します

長期優良住宅

長期にわたり良好な状態で使用するための認証制度。劣化対策、耐震性、維持管理・更新の容易性、可変性、バリアフリー性、省エネルギー性、居住環境、住戸面積、維持保全計画の基準を満たし、認定を受けることで補助金を受たり、住宅ローン減税や所得税控除や固定資産税の減額等の税制優遇を受けたりすることができる。

BEL S住宅

「ベルス」と読み、建築物の省エネ性能表示の第三者認証制度のことをいう。住宅などの省エネ性能という「燃費」を、客観的な基準で分かりやすく5段階の星マークで表示して、一戸建て住宅やマンション購入時の判断基準ツールとして活用されることを想定している。ゼロエネやZEH住宅等の補助金を受ける際には、BELS評価書の提出が必須。

長期優良住宅化リフォーム推進事業では、長期優良住宅の認定を受けると最大150万円、BELSの認定を受けるとさらに100万円上乗せされて、最大250万円の補助を受けることができます！



2017年 最多「いいね！」を獲得した写真は？！

流行りに便乗し、住まいの玄も昨年10月から本格始動したインスタグラム。2017年は、66件の投稿をしました。その中で最も多く「いいね！」を頂いた写真は、12月13日に投稿した、玄関の施工事例でした。玄関に入ると、(写真向かって左から、)リビング、キッチン、クローゼットにつながる入口があり、なんと玄関に手洗い場があります。例えば、スーパーで買った食材を玄関からすぐにキッチンに置いたり、お出かけするときにはクローゼットでコートを羽織ってそのまま玄関に出たり、帰宅時手足を洗ってクローゼットで着替えたりできて、とても生活しやすい動線です。住まいの玄のインスタグラムは、施工事例を中心に月～金のほぼ毎日更新中！ぜひチェックしてみてください！

ユーザー名 smilegen.jp

